

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	相模原青陵高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科(単位制)
-----	-----------	------------------	--------------

1 学校のミッション

単位制による全日制普通科の高校として、現行の教育課程の改善を図りながら、教育活動の充実を図る。教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、共に学び共に育つ共同体としての学校づくりを推進し、地域に根ざした学びを通して、より良い社会の形成者の育成に取り組んできたが、今後はさらに、その取組みをいかしつつ、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力の育成をめざした不断の授業改善を進める等、教育活動の一層の充実に取り組む。

また、県立高校改革 I 期計画に基づき、複数の学科を併置する全日制高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、単位制の利点をいかした年次進行を基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

普通科においては、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な教育課程編成を行う。

専門学科においては、体育、音楽、美術に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視するとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて教育課程編成を行う。

再編・統合にあたっては、これまで学校の特色としてきた外国につながる生徒の学びの場としての充実をも図りながら、新たな学校文化の創造をめざす学校づくりに取り組む。

2 学校教育目標

- 生徒一人ひとりが自らの殻を破り、さまざまな場面で自己を表現できる生徒を育成する。
- 生徒一人ひとりに、目標を実現するために必要な知識・技能を身に付けさせる。
- ルール、マナー、身だしなみの指導により、社会に通用する人物を育成する。
- 外国につながる生徒への支援を充実させ、多文化共生教育を推進する。
- 地域との連携を通して、地域に愛される学校づくりを推進する。

3 計画作成時点での課題

- 在校生、特に再編・統合を承知したうえで入学した生徒が、本校を選んでよかったという気持ちを持って卒業できる学校づくりが何よりも必要である。
- 生徒数の減少に備え、活気のある学校生活を維持するため、部活動加入率の増加(目標70%)と地域と連携した学校行事の検討が必要である。
- 生徒指導やマナー教育に対する指導に改善の余地があり、職員全体の共通理解のもと確実に指導する体制が十分に整っていない。
- 再編・統合に向け、弥栄高等学校との連携による教育活動についてあり方を検討する必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・単位制の利点をいかし、年次の共通科目を基本とした普通科教育を着実に展開するための教育課程編成の工夫と授業改善に取り組む。 ・生徒数が減少する中で、学校行事等の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に向けた研修会(教科別研究会や中学校との相互授業参観等)の実施及び内容の充実を図る。 ・生徒数減少を踏まえ、地域住民参加など新発想の行事を検討・実施する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・初期段階であってもすみやかに生徒指導・支援が行えるよう、職員全体による一貫したサポート体制の構築と充実を図る。 ・生徒数の減少に備え、活気ある学校生活を維持するため部活動加入促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談コーディネーターを軸にスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーと連携した教育相談体制を機能させる。 ・外国につながる生徒支援のために校外機関との連携を維持し、CEMLA事業(多文化学習支援センターや研究会等)を展開する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした社会形成者の育成につながるキャリア教育を行う。 ・妥協しない進路実現に向けた進路指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リベラルベーシック(以下LB)による社会参画活動を通じて企画力、情報活用力、コミュニケーション力を伸ばす。 ・3年間を見通し、より効果的な進路指導を実施する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭及び地域社会との協働による教育活動をさらに充実させ、地域の誇りたる学校の存在を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会や部活動生徒を中心に地域の行事等へ積極的に参加することで、地域の活性化と生徒の意欲や表現力の向上を図り、両者win-winの関係づくりを進める。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・統合を控え、4年間生徒のために何事にも前向きかつ意欲的に取り組む職員集団をつくりあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の意思統一を図るため意見交換の機会を増やす。 ・広く本校の取組等に関する情報を発信する。